

平成20年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第59回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会
第53回全国高等学校自転車道路競走中央大会

監督会議資料

彩夏到来 08 埼玉総体



限界を越え 飛び出す
永遠の夏を



©埼玉県 2005

さいたま市実行委員会
秩父市・小鹿野町実行委員会

平成20年度全国高等学校総合体育大会自転車競技 大会特別規則

大会競技運営委員長 山口 秀雄
総務委員長 中田 将次
審判長 福田 俊彦

トラック・レース、ロード・レース共通事項

2008年(財)日本自転車競技連盟規則、および大会特別規則で実施する。なお、競技規則解説を監督および競技者は熟読しておく。

(高体連ホームページ <http://www.hs-cycling.com/>)

(1) ライセンスコントロール

- ・ 日 時 8月1日(金) 12:00~13:00
- ・ 場 所 大宮ラフォーレ清水園1F 選手・監督受付
- ・ ライセンスの返却は、開会式終了後受付場所にて行う。ライセンスは配布されたIDカードの裏側に入れ、トラック、ロード会場で携帯する。

(2) 記録の配信について

- ・ 連絡事項、スタートリスト、リザルト等のコミュニケは、バックスタンド選手村内競技結果速報板に掲示する。必要なリザルトは、バックスタンド特別観覧席2階(一般観客席)「コピーサービス」で無料配布するが、資源保護、予算の関係から必要な枚数でお願いする。
- ・ リザルトは、大会ホームページに即時掲載する。アドレス等詳細は、コミュニケにて連絡する。

(3) ヘルメット

- ・ JCF公認シールが貼付されているものを練習時も含め使用する。シールが貼付されていないもの、劣化、破損が確認されるもの等は使用を認めない。なお、タイム・トライアル用(エアロ・ヘルメット)の公認ヘルメットは、1kmTT、3kmIP、チーム・パーシュート、チーム・スプリントの競技時のみに限定し使用を認める。また、競輪用ヘルメットの使用を認める。

(4) 使用フレーム

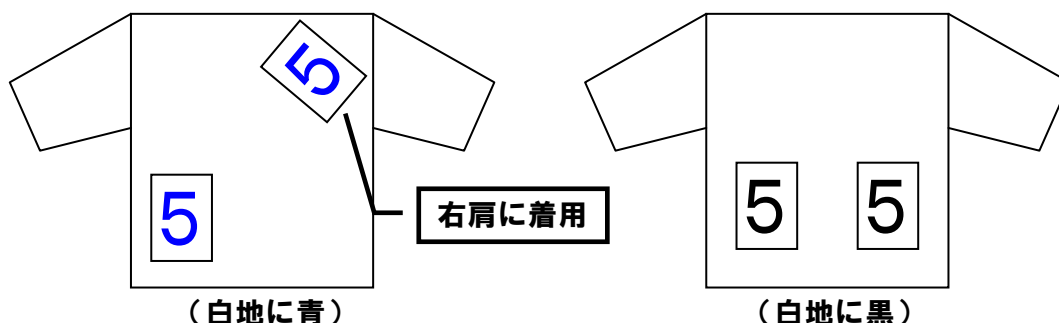
- ・ 国際自転車競技連合(UCI)の規定に適合していないフレームを使用しなければならない場合は、ライセンスコントロール時に、競技運営委員長あてに所定の用紙にて学校単位で提出する。なお、ブリヂストン製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので、申請を行わなくてよい。
- ・ 最大限の努力をした上で、身体形態上の理由により、規定外のサイズの自転車を使用する競技者は、ライセンスコントロール時に所定の用紙にて学校単位で提出する。

(5) ナンバーカード(IDナンバー)

- ・ ボディ・ナンバーを2枚つける場合は下図のように取り付ける。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
- ・ ロード・レースは、①ボディ・ナンバー②フレーム・プレート(フレーム右側)③ヘルメット・ナンバーシール(左右)を使用する。

《トラック・レース》

《ロード・レース》



(6) 種目別表彰

1号スタンド特設表彰ステージで行う。表彰以外は、1号スタンドに入ることはできない。

- (7) ロード・レースのボディナンバー・計測チップは、8月4日(月)15:00~18:00の間に、選手村(三田川中学校)で配布する。選手変更届も同時に受け付ける。

トラック・レース

- (1) 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることを禁止する。

(2) 走路入退場方法

選手・監督の競技場の入場は「ホーム側4コーナー出口付近」とし、退場は「バック側敢闘門横」とする。なお、敢闘門は緊急時以外、通行できないので注意する。

(3) セルフ検車

招集・検車場(メインスタンド裏)の入口手前にセルフ検車のブースを設け、検車台を設置する。各自検車スケールを当て、調整することができる。なお、メカニックサービスの調整を受けることができる。

(4) 招集

招集所はメインスタンド裏に設置し、装備の確認と自転車の検査も実施する。招集は、各自の出走予定時刻の15分前までに完了し、招集完了後は速やかにバンク内に入場する。

※ 入場については、バンクを横切るため、すぐには入場できない。競技開始予定時刻を考え、余裕を持って招集を受ける。

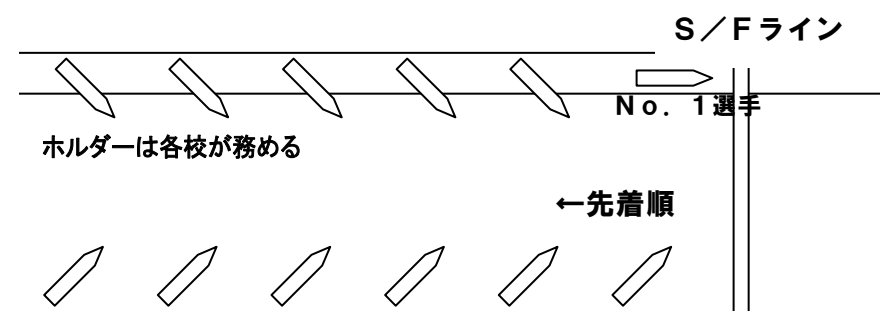
- (5) チーム・パーシュートおよびチーム・スプリントは出走予定時刻の1時間前までに、招集所に出走メンバーの申請をする。

(6) ヘルメット・カバー

4km速度競走、スクラッチ、ポイント・レース、ケイリンの種目にヘルメット・カバーを使用する。

(7) スタートについて

- 1kmT、T、3kmI、P、チーム・パーシュートの最も内側の選手、チーム・スプリントの第一走者はスターティング・マシンを使用する。
- スプリント予選、4km速度競走、ケイリン、チーム・パーシュート、チーム・スプリントのスタートについてのホルダーは競技役員がつとめる。
- スプリント1回戦以降のホルダーは、各チーム・スタッフが行う。
- ポイント・レース及びスクラッチのスタートは、スタートリストにより、イン・レーンスタート、アウト・レーンスタートの選手を参加競技者の約半数を指定する。完全に乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で準備し、スタート時のホルダーも各チーム・スタッフがつとめる。発送員の指示後、各選手はそれぞれの指定されたレーンに先着順でスタート位置に着く。ただし、ヘルメット・カバーNo.1の選手はイン・レーンの先頭からスタートする。1周の競技外周回の後、正式スタートする。



(8) ケイリンの周回は、4周回とし3周回目の4コーナー手前付近でペーサーは離脱する。

(9) 勝ち上がり方法

① スプリント

予選は18名を勝ち上がりとして選出する。2周回で競技する。競技順は1回戦、1回戦敗者復活戦、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝(以後5-8位決定戦以外3回戦)、1/2決勝、順位決定戦とする。

② 4km速度競走

各組予選(組数5)より各組上位6名を選出し、準決勝(3組)を行う。準決勝各組上位4名で決勝戦(12名)を行う。

③ ポイント・レース

各組予選(組数3)より各組上位8名を選出し、決勝戦(24名)を行う。

④ ケイリン

1回戦(組数8)より各組上位2名を2回戦に選出する。1回戦敗者により敗者復活戦(組数6)を行い、各組上位2名を選出する。2回戦(組数4)より各組上位2名を選出し、決勝戦(8名)を行う。

⑤ スクラッチ

予選(組数3)より各組上位6名を選出し、決勝戦(18名)を行う。

(10) 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、1号スタンド特設表彰ステージにおいて実施する。対象競技者は指定された時間の15分前までに登録してあるジャージ着用で1号スタンド表彰選手控所に集合する。サングラス、キャップ等は、着用しない。

(11) ギア比チェック

ギア比チェック対象者は、上位入賞者およびランダムに選出する。競技終了後のギア比チェックは、バンク内4コーナー出口付近「ギア比チェック所」で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

(12) パーシュート種目、タイムトライアル種目の指示場所

1コーナーと3コーナーに設けられた枠内とする。

個人ロード・レース

(1) スタートについて

- ① 招集所にて、サイン・検車・計測チップの検査後、隊列を整え集合する。(位置の指定有り。)
- ② スタート地点まで車両により誘導する。(約2.6キロ)
- ③ 市長をはじめ市民を先頭に400m程パレード後、車両の合図によりスタートする。

(2) 補給について

- ① チーム補給所・ボトル置き場を「みどりの村」に設置する。
- ② オフィシャル補給所・ボトル置き場を「合角ダム」登攀途中に設置する。
オフィシャル補給所では、水のみ提供する。
- ③ 不要なボトルは、指定のボトル置き場に置く。

(3) 打ち切りについて

- ① 関門所にて、8位通過後5分以上離れた競技者は、競技を打ち切る。
- ② 関門所にて、打ち切られた競技者の計測チップを回収する。
- ③ 競技を打ち切られた競技者は、指示に従い選手村に戻る。

(4) 検車は、フィニッシュ後、先頭から20名程度実施する。

※ロードレースの詳細は、コミュニケ・監督会議で連絡する。